

制野 郁弘 SEINO Fumihiro

| | | |
|-------------------|---|-----------|
| 専門分野 | プロダクトデザイン、木材を使ったアート作品 | |
| 学位 | 学士（造形） | 2017年3月取得 |
| | 武蔵野美術大学 造形学部 基礎デザイン学科 卒業 | |
| 着任年月日 | 2020年4月1日 | |
| 教育理念・方法 | <p>今年度から基礎デザイン学科研究室にて勤務をするにあたり、基礎デザイン学科が掲げる、視野の広い多様性に富んだ考え方を私自身が理解していくこと、そして学生たちが基礎デザイン学科の考え方を土台に自分自身の考えや能力を成長させられるようにサポートしていきます。</p> <p>授業のサポートだけでなく、可能な部分に関しては制作や相談にのることで、学生の手助けになっていければと思います。技術面や学生のモチベーションを支えることは意欲的に学長に励むことにつながってくると思います。私自身が活動的に行動することで学生たちの見本のようになっていけるように努力します。</p> | |
| 2020年度 研究成果 | <p>2019年度に引き続き、木材加工の発展について研究を進める。</p> <p>寄木細工のようにある一定のパターンになる木材の薄いシートを作り、半立体の作品へと昇華させていくことを目標とした、新しい発見に伴い、展示を行う予定ではあったが、コロナウイルス感染拡大による影響と大学の職員という立場から2020年度の展示は見送るという判断をした。</p> <p>また、木材だけに限定することなく異素材との見え方の違いや、新しい表現の仕方を発見することで、作品が変容をしていくことが見ることができた。</p> | |
| 2021年度 教育・研究目標 | <p>主に木材を使用した立体作品の制作を進めていきます。</p> <p>制作の過程で材料に対しての適切な加工手段を模索していくことで、より効率的にクオリティの高い成果物を作ることにつながっていきます。</p> <p>制作したものは学内の助手展だけでなく、学外での発表も意欲的に行っていければと考えています。多方面からの意見や考えを聞くことで、学科の理念として多様的に活かしていくことができる部分も多いと考えています。</p> | |